

代表  
質問

# これからの八街市のまちづくりと 農業の共生について伺う！



やちまた21 ..... 加藤 弘

## 八街駅北側土地区画整理 事業について

### 八街駅北口



たいと考えています。  
また、返済計画については、平成19年度末で、区画整理事業開始からの総額で約30億円の借入れを行っており、返済終了が最長で平成35年度を予定しています。

### 農業問題について

**問** 荒廃した農地が増えている現在の農地の状況などから、新たな考えによる農業政策や農地を絡めた新しいまちづくりが求められてきていると考える。まちづくりと農業・農地の共生について、本市の施策を伺う。

**市長** 本市は現在、農業と商業が連携する2つの事業に取り組んでいます。

その1つ目は、地域団体登録制度を活用した落花生のブランド化です。これは市の特産品である落花生の加工品を平成19年4月に「八街産落花生」として商標登録をしたものです。

2つ目は、本年度から開始した特定農産物産地構造改革対策事業への取り組みです。この事業は、市内の落花生加工業者と落花生生産者が契約栽培契約書を締結して行う落花生栽培に対し、財団法人全国落花生協会から生産者への奨励金が支給されるという制度です。農業と商業が連携したこれらの施策が、市の特産品である落花生の作付面積や生産量の増加を通して、「まちに賑わいをもたらし産業の振興」にもつながるものと考えています。

また、農業は産業としての位置づけだけでなく、豊かな自然環境を保全し、八街らしい田園風景を創出するという重要な役割も果たしているものと認識していますので、今後においても自然環境と農業環境との調和を図れるよう遊休農地対策を含めた農地の保全に努力をしていきたいと考えています。

**安全・安心について**  
**問** 7月末から8月上旬にかけて、雷による火災や家電製品への落雷による災害、短期間での集中的な雨による床下・床上浸水があったが、各自治組織による防災対策と支援について伺う。

**市長** 災害時における被害を最小限にとどめ、被害の拡大を防止し、市民の生命、身体及び財産を守る上で普段から顔見知りのご近所の方との助け合いが、はかり知れない力となることは、十分認識しているところであります。これは、事故等に対する責任を明確にし、安全運行が行えるようにするためです。バスの乗降場としては、基本的に市総合保健福祉センター駐車場としていますが、交通の便や身体の都合により、市役所に来られない場合は、事前に協議し、バスが安全に停車できる広いスペースが確保できて、運行経路等、適切であると思われる場合は、他の場所でも認めています。

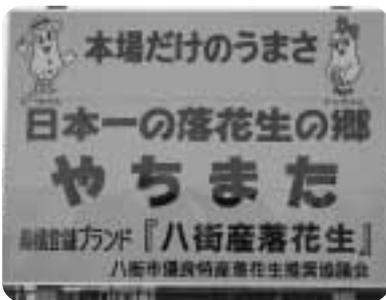
や、地区と地元消防団が中心となって行う、防災訓練の指導、協力や資材等の整備に係る支援など、積極的に取り組んでいきたいと考えています。

**市有バスの有効利用について**  
**問** 市民がより利用しやすいするための方策について伺う。

**市長** 市有バスの使用については、市有バス管理規則により、使用範囲を議会及び市主催事業に限るものとしています。これは、事故等に対する責任を明確にし、安全運行が行えるようにするためです。バスの乗降場としては、基本的に市総合保健福祉センター駐車場としていますが、交通の便や身体の都合により、市役所に来られない場合は、事前に協議し、バスが安全に停車できる広いスペースが確保できて、運行経路等、適切であると思われる場合は、他の場所でも認めています。

現在、自主防災組織については、数団体ではありませんが、今後地域の特性を踏まえた防災対策を推進するとともに、自主防災組織の手引などを活用して、自治会等を通じての呼びかけ

今後、可能な範囲内で、柔軟な対応に努めていきたいと考えています。



「八街産落花生」として商標登録